こころをつなぐ まちづくり

人権シリーズ vol.150

犯罪被害者やその家族の人権問題

犯罪被害者やその家族が、興味本位の噂や心ない中傷などにより名誉を傷つけられたり、私生活の平穏が脅かされるなどの人権問題が発生しています。

そこで今回は、「犯罪被害者やその家族」の人権問題について一緒に考えてみましょう。

●犯罪被害者やその家族の痛み

自分の住んでいる町は静かでおだやかだし、事件なんて起きないよ と思われているかもしれません。しかし、殺人、暴行、傷害、性犯罪、交通犯罪などによる被害は、ある日、突然、理不尽に誰の身にも起こり得ます。犯罪被害に遭うと、身体を傷つけられ、生命を奪われるなどの身体的被害のほかに、稼ぎ手が失われることにより収入が途絶え、生活ができないといった財産的被害、さらには、メディアの過剰取材や周囲の人々の心無い噂や中傷、偏見により、精神的苦痛を受けます。こうした犯罪後に生じる被害を二次的被害と呼びます。犯罪被害者やその家族は長期にわたり、二次被害にも苦しみ、その日常生活は一変してしまいます。

●犯罪被害者やその家族への支援

被害者団体等が、犯罪被害者やその家族が置かれている深刻な状況等を訴え続けた結果、社会的な関心が高まり、平成17年に犯罪被害者等基本法が施行されました。国は基本計画を策定し、犯罪被害者等のための施策を推進しています。

国東市では平成29年度3月市議会定例会において、犯罪被害者等支援条例が可決、成立。4月1日から施行されました。大分県内の市町村で初めての制定となりました。

この条例は、周囲の心ない言動などで傷つく「二次被害」の防止、犯罪被害に遭った人やその家族への支援が目的であり、被害者への見舞金制度も導入されています。

条例は全11条からなり、犯罪被害者等の立場に立った適切できめ細かい支援を途切れなく提供するとともに、犯罪被害者等の置かれた状況を理解し、社会全体で支えていくことが必要と指摘し、個人としての尊厳にふさわしい処遇を保障される権利が尊重されるなどの基本理念、市や市民等の責務などが定められています。また、市が経済的負担の軽減に向けて必要な施策を講じることなども盛り込まれています。

被害者の身近にいて、いつでも支援することのできる周囲の人々の適切な対応が被害者の回復への一助となります。この問題についての関心と理解を深め、被害者やその家族の人達の立場になって考え、地域で、職場で支援することが大切です。

なお本年9月末には大分県内の全18市町村で制定されています。

犯罪被害者等とは：

犯罪等により被害を受けた者及びその家族または遺族をいう。

（文責：国見分室　有定）

第4回身になる人権講座

日　時　11月21日㈬ 午後6時～7時30分

場　所　アストくにさきマルチホール

【問合先】
社会教育課
☎0978―72―2121

●第11回国東市隣保館まつり「こころの川柳」課題《笑顔》応募作品

お多福が
笑顔でいれば場和み
国見町　江原昭信

隣保館
笑顔の花でつつみたい
国東町　きみえ

市長室からこんにちは　市長日記 90

『国民文化祭、障害者芸術・文化祭』

国東市長　三河　明史

もう二度と秋や冬は来ないのでは無いかと思われるほどの、あの暑い暑い夏の日が嘘のような爽やかな秋晴れの日が続いています。

大分県下では、今、国民文化際、障害者芸術・文化祭一色になっています。

10月6日㈯、皇太子殿下、同妃殿下をお迎えして、「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の開会式が行われました。この日から51日間にわたり、県下で164事業が催されます。

開会式では、皇太子殿下のお言葉に「宇佐神宮をはじめ、古くから独特な山岳宗教文化を育み、今年開山1300年を迎えた六郷満山」とあり、大変嬉しく感動いたしました。

この国民文化祭では、県下を5つのゾーンに区分しており、国東市は、「祈りの谷」のゾーンに入ります。演劇やコンサートを行う「祈りの谷～ペトロ岐部物語～」や、寺院ライトアップ、鬼朱印巡りなどの「六郷満山開山1300年記念事業」、市内各地に古くから伝わる「神楽」などをリーディング事業を企画しました。

そして、10月13日㈯には、皮切りとして、絵画展「ペトロ岐部と187殉教者列福10周年記念　ペトロ・カスイ岐部奇跡の生涯展」を開催しました。この絵を描かれた村田佳代子さんは、鎌倉市在住の洋画家で、40年近くキリシタンの歴史画などを発表し続けておられる方です。これまでも何度も国東には足を運んでおられ、国東市の色々な取り組みにもご協力いただいているのです。

その村田さんが挨拶の中で、ペトロ岐部を描くようになったのは、ドイツ人神父チースリクさんから「ペトロ・カスイという素晴らしい人がいた。是非描いて欲しい。」と亡くなる時に言われて、描きはじめた、と話されていました。

チースリク神父は、当時、ペトロ岐部のことを調べるため、国見町などに何度も来たことがある人です。

リーディング事業第2弾は、10月14日に行われた、演劇「遙かなる海の賛美歌～ペトロ岐部物語～」であり、劇団青年座の指導で行う市民参加の演劇です。

11月には、「日本のマルコポーロ、福者ペトロ・カスイ岐部の足跡を音楽で辿る」コンサート、「ペトロ・カスイ岐部神父列福10周年記念シンポジウム」などが行われます。

どうか出来るだけ多くの皆様に参加いただきたいと思います。

市政バスツアーに参加しませんか

市民の皆さんに、市政や当市を支える産業に対する理解を深めていただくため、市の施設や市内企業・事業所等を見学する市政バスを次のとおり運行します。

- **参加対象**　市内に在住されている方
- **実 施 日**　12月17日㈪　Aコース　　平成31年1月16日㈬　Cコース
  12月18日㈫　Bコース　　平成31年1月18日㈮　Dコース
  いずれも午前9時頃～午後4時頃までを予定しています
- **発 着 地**　A、Dコース…国見支所・本庁　　B、Cコース…安岐支所・武蔵支所・本庁

Aコース…発着地 → 消防本部 → ウーマンメイク → 梅園の里 → 七島藺学舎 → 旧農業大学校跡地の農業団地 → 本庁 → 発着地

Bコース…発着地 → 国見支所 → 国見トレーニングファーム → 奥松農園 → 本庁 → 旧農業大学校跡地の農業団地 → サテライトオフィス → 発着地

Cコース…発着地 → 消防本部 → くにさきオイスター養殖場 → 道の駅くにみ → 本庁 → 旧農業大学校跡地の農業団地 → サテライトオフィス → 発着地

Dコース…発着地 → 本庁 → 旧農業大学校跡地の農業団地 → 本田航空 → 里の駅 R213 →京製メック → ウーマンメイク → 発着地

※コースは変更する場合もあります。

- **参 加 料**　無料（ただし、昼食代600円を当日集金します）
- **定　　員**　25名（申し込み先着順）
- **申し込み方法**　広報室へお電話（☎0978-72-5008）もしくは電子メール（kouhou@city.kunisaki.lg.jp）にて①住所 ②氏名③年齢④電話番号（日中連絡取れるもの）⑤コース名⑥乗車場所を記載してお申し込みください。
- **締め切り**　11月30日㈮
- **そ の 他**　歩きやすい履物、防寒対策をしてご参加ください